



中央子育て交流ひろばにて

市長コラム

日っ初っ心

秋田市長 ● 穂積 志(もとむ)

人口減少「こどもの日」に

一昨年に並び、観測史上最も早い桜の開花宣言でした。全国的な傾向ではありますが、私が小・中学生の頃は、花見というとゴールデンウィーク頃だったような記憶があり、まさに大きく様変わりしていることに驚きを感じています。

さて、こちらの様変わりも心配です。同じように国全体の問題ですが、少子高齢化と人口減少です。例えば戦後のベビーブームの頃の出生数は約270万人、私が生まれた昭和32年は約157万人でしたが、昨年の出生数はついに80万人を割っています。

秋田市の人口をみると、出生数から死亡数を差し引いた自然動態の減は避けられない状況が続いています。また転入と転出の差となる社会動態はというと、ここ3年間のうち2年間は、社会増を実現できましたが、昨年は惜しくも10人の減に転じてしまいました。ただ、その中身を分析す

ると、15〜24歳の転出超過数は減少傾向にあるなど、希望の持てる状況もみてとれます。また県内6つの大学の市内就職率も、令和3年3月と4年を比較すると、24・4%から26・7%と上昇しており、若い世代の地元志向の強まりを感じています。

平成25年3月当時、国立社会保険・人口問題研究所(社人研)は、本市人口が令和2年には30万人を下回ると推計しておりましたが、子育て支援の充実や雇用の場の創出、移住促進など全庁を上げた人口減少対策に取り組んできた結果、4月1日現在の本市推計人口は、30万257人と、社人研の推計を上回って推移しています。とはいっても、今年中に人口30万人を割ってしまう可能性もあり、喫緊の課題であることに変わりありません。

国でも少子化は、「これ以上放置できない待ったなしの課題」と

とらえ、「次元の異なる少子化対策」の試案を示しています。具体的には児童手当の所得制限の撤廃や支給期間の延長、育休手当給付率の引き上げによる実質の手取り額を増やすことなどです。どれも有効だと思いますが、先日全国市長会の政策推進委員会でも提言しましたが、私としては、保育料や医療費および給食費の無償化などを国の制度として構築していくことが重要だと考えています。

この号は5月5日号。私たち一人一人が、子育ての負担が女性に集中していないか、男性が育休を取得しやすい職場の雰囲気づくりに心がけているのかなど、職場の上司、同僚としても考えてみたい「こどもの日」です。



◆市長の動向などは、市ホームページでお伝えしています。 <https://www.city.akita.lg.jp>

八橋運動公園球技場の愛称が
新たに「秋田スポーツPLUS・ASPスタジアム」に！



ネーミングライツ・パートナーお披露目式で。穂積市長の左がNPO法人秋田スポーツPLUSの加藤光平理事長

公募していた八橋運動公園球技場のネーミングライツ(命名権)・パートナーが、「NPO法人秋田スポーツPLUS」に決まり、愛称は「秋田スポーツPLUS・ASPスタジアム」となりました。契約期間は3年間です。4月5日のお披露目式には同法人が運営するスクールの生徒も参加し、球技場入口の大型看板の除幕を行いました。

●問い合わせ スポーツ振興課

☎(888)5611



市への寄付ありがとうございます

株式会社秋田東北ダイケンから、地域の防災に役立ててほしいと30万円を寄付していただきました。ありがとうございます。

●問い合わせ

防災安全対策課

☎(888)5434

3月30日の受納式。穂積市長の右が、(株)秋田東北ダイケンの高井行則代表取締役社長、その右が川辺健一統括マネージャー、左端が熊谷清香旧松倉家住宅責任者

秋田市移住ガイドブック
配布中です！



秋田市への移住を検討しているかた向けのガイドブックが完成しました！

相談窓口や、移住前に暮らしの体験がイメージ

できる情報、移住して秋田市で活躍してみなさんのインタビューも掲載しています。テレワークや自分らしい働き方が見直されている時代、都市機能と大自然の「いいとこどり」ができる秋田市の魅力が詰まったガイドブックをぜひ、県外にお住まいのお友達や家族にお知らせください！◆広報ID番号 1012809

●問い合わせ 人口減少・移住定住対策課

☎(888)5487

秋田市へ新たな
誘致企業が決定！

4月4日、秋田県と秋田市は佐鳥電機株式会社を誘致企業として受け入れることを発表しました。

同社は半導体・電子部品などの取り扱いのほか、各種機器に組み込まれているソフトウェアの開発など幅広い分野の業務を行っています。現在東京本社と秋田に分散していた開発・生産などの部門を秋田市に集約し、将来的には約40人の雇用を見込んでいます。

●問い合わせ

企業立地雇用課

☎(888)5733



佐鳥電機(株)の佐鳥浩之代表取締役社長(中央)と穂積市長、石川秋田県産業労働部長